

いいたて希望の里学園

川俣町内小学校と持久走交流会

11月5日、川俣町内小学校といいたて希望の里学園の児童による持久走交流会が、澄んだ秋晴れの下、いいたてスポーツ公園で開催されました。

児童は低学年・中学年・高学年に分かれて、それぞれの距離を一生懸命走りました。また、学校や学年の枠を超えて応援し合い、感想発表では「交流ができて楽しかった」「最後まで走り切れてよかった」と、互いの健闘をたたえ合いました。



低学年が800m、中学年が1,000m、高学年が1,200mを力いっぱい走りました。写真は力走する低学年。

いいたて希望の里学園

地震発生を想定した避難訓練

11月11日、大地震の発生を想定した避難訓練が行われました。児童生徒は机の下に入って身を守り、その後、校内放送の指示で校庭に避難しました。また、赤十字奉仕団指導講師で防災士の高橋誠先生（飯樋町）の講話で避難の際に大切なポイントを学び、「命を守るための行動が身につくよう、本番同様の訓練や日頃の生活を大切に」というメッセージを胸に刻んでいました。



防災頭巾を被り、クラスごとに校庭へ。これまでの訓練や学びを生かし、落ち着いて素早く行動できました。

いいたて希望の里学園

福島ユナイテッドFCの環境教室

11月11日、いいたて希望の里学園の5～6年生を対象に、東急不動産と福島ユナイテッドFCによるJリーグ環境教育授業が行われました。Jリーグ気候アクションアンバサダーの田中雄大選手が講師として来校し「『気候アクション』を一緒に考えよう!」をテーマに、福島ユナイテッドFCの環境保全の取り組みや、再生可能エネルギーの情報を紹介しました。後半には児童が、今後やってみたい環境に対する取り組みや行動について話し合い、発表しました。



Jリーグの選手と身近に触れ合った子ども達。活発に話し合い、環境保全について学びを深めました。

までいの里のこども園

笑顔いっぱい!ハロウィンパレード

10月31日、までいの里のこども園の園児がハロウィンの仮装をして村役場を訪れました。

「お菓子をくれなきゃいたずらしちゃうぞ!」と声を合わせながらパレードする園児達のかわいらしい姿に、お菓子を渡す職員も満面の笑顔でした。また、ハロウィン仕様のイタネちゃんが登場すると、園児達は大興奮。お菓子のお礼に、息の合ったハロウィンダンスを庁舎前で披露し、職員や来庁した人達に、笑顔と元気を届けてくれました。



役場職員一同、毎年このパレードを楽しみにしています。庁舎の中が笑顔でいっぱいになりました。

までいの里のこども園

綿津見神社で七五三参り

11月14日、までいの里のこども園の3歳以上の園児21人が、綿津見神社で『七五三参り』を行いました。

子ども達は、自分でつくった千歳飴の袋を手に神社を訪れました。神社では、宮司の多田宏さん・保子さんご夫妻(宮内)にお迎えいただきました。子ども達は、多田さんから七五三の行事の意味や参拝の仕方を教わり、小さな手を合わせて丁寧にお参りました。



拝殿の鈴を鳴らしてお参りする園児。健やかな成長に感謝し、今後の健康に願いを込めました。

いいたて希望の里学園

児童が落語口演会を鑑賞

10月28日、交流センターふれ愛館を会場に、「落語口演会」が行われ、いいたて希望の里学園の前期課程の児童が鑑賞しました。

口演者は三重県出身の切磋亭琢磨さん(本名・石崎豊さん)。東日本大震災の被災地を訪れ、落語を通して元気と笑顔を届ける活動を行っています。「寿限無」「狸賽(たぬさい)」「手水廻し(ちょうずまわし)」などの演目が披露され、子ども達は愉快的な話に声を上げて笑い、落語を楽しんでいました。

高座で落語を語る切磋亭琢磨さん。



思わず笑い出す子ども達。落語を満喫!

文化展鑑賞

いいたて村文化祭の総合文化展を、こども園の園児と学園の児童がそれぞれ鑑賞しました。左の写真は10月28日の児童の鑑賞会。



HELLO!

いいたて希望の里学園・までいの里のこども園の「ALT (Assistant Language Teacher/外国語指導助手)」に着任したリアン・スターリング先生はカリブ海地域の国・ジャマイカの出身です。「自然が美しい飯館村で子ども達と楽しく活動し、英語が身に付くように頑張りたいです」と目を輝かせて話していました。